王城寺原演習場における米軍実弾射撃移転訓練の訓練見学会が開催

平成２９年5月２６日（金）、王城寺原演習場において、米軍実弾射撃移転訓練の訓練見学会が実施されました。見学会には、宮城県及び演習場が所在する大和町、大衡村、色麻町の関係者や報道関係者、約６０名の参加を得ました。

見学会は、指揮官であるリロイ B. バトラー中佐（第３海兵師団第１２海兵連隊第３大隊長）による訓練概要の説明から始まり、引き続き、見学者は射撃の指揮をとる指揮所及び１５５ミリりゅう弾砲等の装備品を見学するとともに、安全に射撃訓練を実施するための手順の説明を受けました。その後、実際にりゅう弾砲２門を用いた実弾射撃の訓練を見学しました。

バトラー中佐は、「実弾射撃移転訓練には、地元の皆様のご理解、ご支援が欠かせない。この訓練について皆様に理解を深めていただくこのような機会をいただき、大変有り難い。我々海兵隊が、安全管理を徹底して訓練を実施していることをご理解いただきたい」と感謝の言葉を述べ、見学会は終了しました。

訓練概要の説明を行うバトラー中佐（左端）

１５５ミリりゅう弾砲の見学

１５５ミリりゅう弾砲の実弾射撃訓練見学

見学者からの質問に答えるバトラー中佐